

令和8年度

鳴門市林崎小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 対話や書くことを通して、自分の考えを表現し、伝え合う力の育成
- 協働的に学び合う授業の実践
- 自ら学び続ける力の育成

校長

中妻 佳代

学力向上推進員

豊崎 恵巳

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告など、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○課題にまじめに取り組むことができる児童が多い。</p> <p>●児童によって、学習意欲や学力の差が大きい。</p> <p>●話す・聞く・読む・書く力、数の認識などの基本的な知識・技能の定着が不十分な児童が一定数見られる。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識・技能をしっかり身に付け、それらを生かすことができる。</p>	<p>・児童の実態に応じて前学年までの学習も含め、漢字や計算などの指導や、定期的に漢字・計算のテストを行い、スモールステップで学力の向上を図る。</p> <p>・AIドリルのキュービナやコグトレを活用し、基礎的・基本的な力の定着をめざす。</p> <p>・相互の授業参観や授業写真共有で授業改善を図る。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の考えをもつことのできる児童が多い。</p> <p>●話を聞く力や伝え合う力に課題があり、自分の考えを言葉や文章で表現することに苦手意識をもつ児童が多い。</p>	<p>・他者の話を最後まで聞き、理解することができる。</p> <p>・自分の考えを明確にして、進んで友だちと伝え合うことができる。</p> <p>・目的に応じて、理由をつけて自分の考えを文章に書き表すことができる。</p>	<p>・毎日の学校生活の中で、話の聞き方を根気強く指導する。</p> <p>・授業の振り返りや日記などを書くことで、自分の考えを言葉で表現する機会を設定する。</p> <p>・朝の学習や授業の中で、あわスタを活用し、書く力を高める。</p> <p>・ホワイトボードやタブレットを効果的に取り入れ、伝え合う場面を設定する。</p> <p>・考えだけでなく、その理由を説明する活動を取り入れ、思考力を高める。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○できるようになりたいという意欲をもち、与えられたことに対して、素直に取り組むことのできる児童が多い。</p> <p>●失敗を恐れたり、途中で諦めたりするなど、粘り強くやり抜く力が弱い。</p> <p>●生活習慣、学習習慣ともに、十分に身に付いていない。</p>	<p>・自分から進んで学習に取り組むことができる。</p> <p>・規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付け、進んで読書や学習に取り組む、自ら学ぶ楽しさを実感することができる。</p>	<p>・学年に応じた体験活動や異年齢集団活動、生活につながる課題を設け、主体性を高めることができるようにする。</p> <p>・全教職員で、生活習慣や学習習慣の徹底を図る。</p> <p>・授業では、必ずめあてを提示することで、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p>			